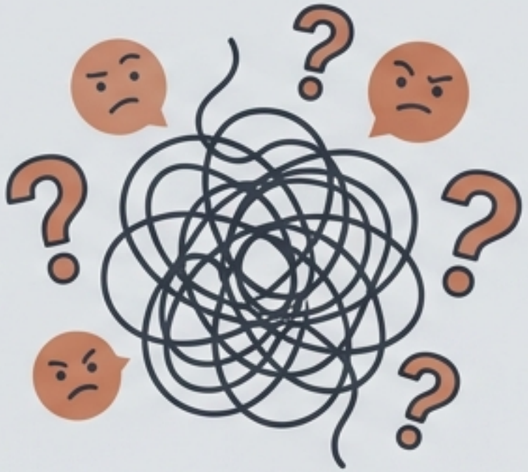
就労継続支援B型
見学・体験プレイブック

「雰囲気」に頼らず、客観的なデータで
事業所を選ぶための実践ガイド

ご本人・ご家族・相談支援専門員向け 完全マニュアル

NotebookLM

見学・体験は「感じる」場ではなく「比較できる情報を集める」場です



✕ 従来のやり方（雰囲気を見るだけ）

- なんとなくの印象で決めてしまう
- 後になって「合わない」と気づく
- 結果：利用開始後のミスマッチによる疲労



○ 新しいやり方（データ収集と比較）

- ✓ 事前に比較項目を決めておく
- ✓ 運用ルールや実際の支援を観察する
- ✓ 結果：納得感のある選択と長期的な安定

NotebookLM

こんな不安や戸惑いはありませんか？

以下の項目に1つでも当てはまるなら、このガイドが役立ちます。

- [ ] 見学で何を見ればいいか迷う
- [ ] 複数事業所を比較したいが、基準がわからない
- [ ] 体験後の判断に自信がない
- [ ] 利用後のミスマッチを絶対に減らしたい



このチェックは、現在どこに負担があるかを見つけるためのものです。無理なく、一つずつ不安を解消していきましょう。

NotebookLM

失敗しないための4ステップ・ロードマップ

Step 1: 準備 (Before)

- 比較項目の設定と質問メモの作成

Step 2: 観察 (Visit)

- 作業だけでなく「運用ルール」を見る

Step 3: 体験 (Trial)

- 「3つの観点」で相性を確かめる

Step 4: 振り返り (After)

- 言語化して、比較・決定する

NotebookLM

Step 1: 見学前の「準備」で選択の精度が大きく変わる

事前に条件を整理することで、相談が具体的になり、複数事業所の比較が容易になります。

基本情報の整理メモ

必ずメモしておくこと

- [ ] 通所希望日（週何日など）
- [ ] 移動手段（バス、電車、送迎希望など）
- [ ] 今一番不安に思っている点

比較項目の設定

他施設と比べるための基準作り

- [ ] 送迎の有無とルート
- [ ] 昼食の提供と内容
- [ ] 作業の種類と難易度
- [ ] 相談体制（誰にどう相談できるか）

NotebookLM

Step 2: 当日は作業内容ではなく「実際の運用」を観察する

「どんな作業をするか」以上に、「どのように過ごすか」が通いやすさに直結します。

利用者さんの表情

リラックスしているか、
疲労しすぎていないか

職員の声かけ

指示出しのトーンや、
トラブル時の対応



作業説明の分かりやすさ

初めての人にも丁寧な手順説明があるか

休憩の取り方

自分のペースで休める空間やルールがあるか

NotebookLM

Step 3: 体験利用は「3つの観点」で相性を評価する

単なる「楽しかった/疲れた」という印象ではなく、以下の3軸を意識して体験に臨みましょう。

1 身体的負担



- 通勤時の移動の疲れ
- 作業姿勢による疲労感

2 心理的負担



- 空間の音や雰囲気による緊張
- 対人関係のストレス

3 支援の具体性



- 困った時、実際にどう対応してくれたか
- 配慮は口先だけでなく実行されているか

NotebookLM

Step 4: 体験後の振り返りメモで、判断材料を残す

体験後は、記憶が新しいうちに「3列のメモ」で感情を客観的なデータに変換します。

共有メモ（見学比較シート）		
○ 安心できた点・合う点	△ 気になった点	？ 次回確認したい点
・［人 / 環境 / 手順］について良かったこと	・［音 / 時間 / 距離］など負担に感じたこと	・［具体的に聞くこと］をリスト化し、次の面談の準備へ

NotebookLM

事例：比較メモを活用してミスマッチを回避したケース



【以前の悩み】
「最初は雰囲気だけで決めようとしており、漠然とした不安がずっと残っていました...」

【比較表の導入後】
比較項目（通所導線、支援体制など）を作り、2つの事業所を体験。



【結果】
「自分に合う支援体制がどちらか客観的に比較でき、納得して選択。利用開始後も安定して通えています！」

NotebookLM

アイデンド（就労継続支援B型）のサポート体制

私たちは「選ばれること」よりも、「あなたに本当に合っているか」を共に考えます。

見学時の徹底した具体性

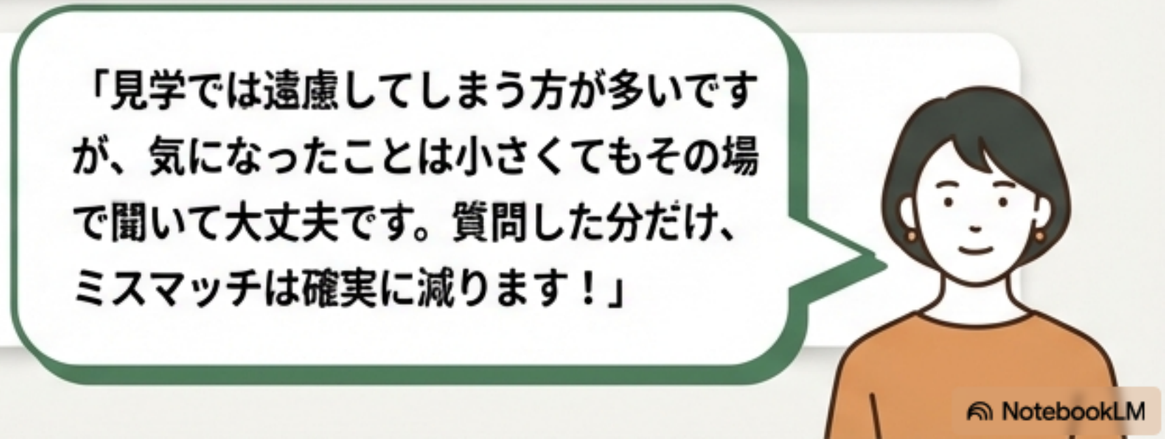
「雰囲気」だけでなく、運用ルール、実際の支援内容、費用面まで包み隠さずお伝えします。

振り返り面談の実施

体験後、判断しやすいように「良かった点・気になる点」を一緒に整理するサポートを行います。

負担を減らすスモールステップ

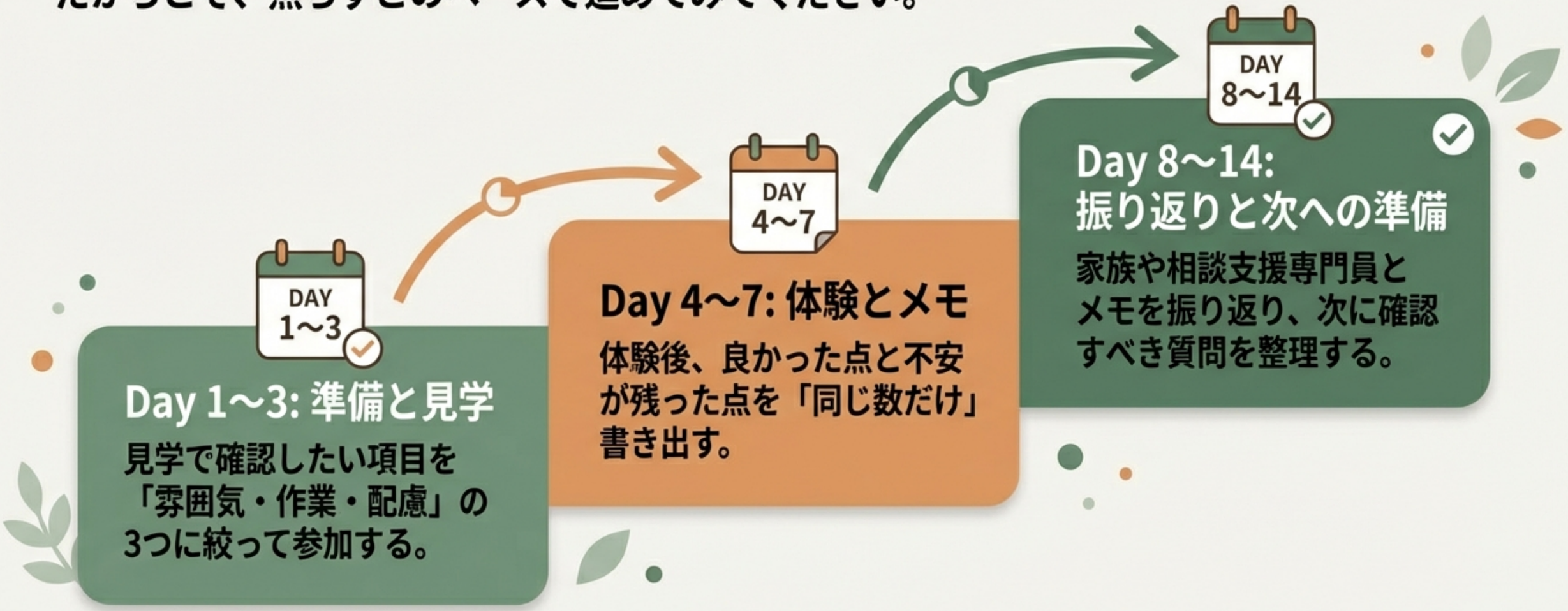
利用開始時期は、本人と支援員で振り返りを重ね、
無理のない手順を少しずつ固めます。



NotebookLM

行動につなげる実践メモ（最初の14日間）

見学や体験で緊張するのは当然です。
だからこそ、焦らずこのペースで進めてみてください。



NotebookLM

よくある質問と不安への回答（FAQ）

Q. 見学時に家族同席はできますか？

A. 必須ではありませんが、同席できると情報共有が進みやすいです。 ご本人が一番リラックスして話しやすい形を優先してください。

Q. 体験利用は何回できますか？

A. 回数は事業所により異なります。1回で決めず、体調と作業の相性をしっかり確認できる回数を相談するのがおすすめです。

Q. その場で利用を決める必要はありますか？

A. その場で決める必要は全くありません。持ち帰って整理し、他と比較してから判断した方が、圧倒的に納得感の高い選択になります。

NotebookLM

見学は「合否」の判定ではなく、あなたとの「相性確認」です

「通い続けられるか」という視点で客観的に判断することが、長期的な安定への最短ルートです。
今の状態に合う方法を選び直しながら、焦らず進めていきましょう。

【3つの重要ポイント】

1. 事前準備で質問の質を上げる
2. 当日は「運用の実態」を見る
3. 体験後は「3つの観点」で振り返る

納得できるまで比べて、問題ありません。

NotebookLM